

小城市立岩松小学校
学校だより 第4号



岩松小だより

令和7年4月25日発行
発行者 校長 真子靖弘

ふるさと「さが」水と土探検支援事業

今年度もふるさと水と土指導員の宮島寿一さんの力をお借りし「ふるさと「さが」水と土探検支援事業」を実施します。この事業は、佐賀県が実施している、次世代を担う子どもたちが、佐賀の豊かな「水」と「土」に触れ、学び、ふるさとへの関心や愛着を育むことを目的としています。

《令和7年度活動計画》

事業名	内容	対象
みかん収穫体験	・みかんの収穫	1・2年生
玉ねぎ収穫体験	・玉ねぎの収穫	3年生
ホタルの講話	・ホタルの生態を学ぶ	5年生
川の生き物調査	・祇園川の魚や水生昆虫の調査	5年生
ふるさと史跡探訪	・郷土の歴史を学ぶ	6年生

生活科や総合的な学習、理科の時間を活用して実施します。

早速、先週の4/18(金)、6年生が市バスを利用し岩松地区の「史跡探訪」に出かけました。市役所の古庄秀樹さんに案内・説明役を行っていただきました。

《見学した寺社》

- ①松尾山光勝寺 - ②三間山圓通寺 - ③須賀神社
④北浦 妙見神社 - ⑤天山神社

保護者様は、戦国武將の加藤清正と松尾山光勝寺との関係をご存じでしょうか？加藤清正は、豊臣秀吉による朝鮮出兵において、先鋒を務めるなど重要な役割を果たしましたが、実は、朝鮮出兵の際に清正は、松尾山光勝寺で戦勝を祈願し、帰国後には奉納を行っています。現在も境内に清正公堂が残されており、その繋がりを今に伝えています。



6年生は4年生時に、「第2回千葉氏子どもサミット」に参加するなど、千葉常胤についても学習しています。千葉常胤を深く信頼していた源頼朝から与えた領地の一つが身近にあるということや今回訪れた地域の寺社を誇りに思ってくれることを願います。

この指止まれ！ 第1弾プロジェクト企画

春休みに入る直前、私が各担任を通じて「『のぼり旗』制作プロジェクト」のメンバーを募集しました。

＜目的＞

- ① 新1年生の入学を心から祝福し、温かく迎えるため
② 迎える側の1～5年生の想像力、表現力を高めるため

旧2年生と旧4年生の数名が興味を示し、主体的に参加してくれました。3年生の2名は、残念ながら完成までたどり着きませんでしたが、挑戦したこと自体が素晴らしかったです。入学式当日、5年生3名が制作した「のぼり旗」を児童玄関に掲げ、新入生を迎えました。3人の温かい気持ちが表現された「のぼり旗」でした。新入生も喜んでいました。



子どもが見通しをもつために

児童玄関を入ったところに、写真のような3ヶ月間の主な行事がわかる立て看板を設置しました。校長だより第1号でご紹介したように、子どもたちに「見通しをもつことの大切さ」を実感してもらうためです。主体的に自分に何ができるかを考え、新しいアイデアをどんどん私や担任等に伝えてくれることを期待しています。

「自分たちの学校は、自分たちで創る！」という気概をもって過ごしてほしいです。



「6年生すごい！」の嬉しい声

入学式の写真撮影時の出来事です。式終了直後に体育館ステージにおいて、新入生と保護者様の集合写真を撮りました。セッティングを6年生が行ってくれたのですが、その手際の高さや新入生の緊張をほぐす姿に新入生の保護者様から「すごい！6年後にはこのように成長するのかな。楽しみ！」「岩松小に入学できて本当によかった！」といったお褒めの言葉をいただきました。カッコイイ6年生です(*^o^*)